

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272501289		
法人名	社会福祉法人メープル		
事業所名	グループホームメープル		
所在地 (電話番号)	〒039-2311 青森県上北郡六戸町上吉田長谷85-26 (電話) 0176-70-1117		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 2月 19日	評価確定日	平成 21年 4月 1日

【情報提供票より】(平成21年1月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	12人, 非常勤 1人, 常勤換算 11.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,360 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(1月16日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	1 名	要介護2	8 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.05 歳	最低	73 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	六戸町国民健康保険病院、浅原歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>近隣の市町村へのアクセスは良く、近くには大型ショッピングセンターが点在している。ホームは田園に囲まれており、緑豊かな環境の中、周りの風景にとけ込んだ外観となっている。敷地内には整備された庭木があり春には桜を楽しむことができる。また、天然温泉の足湯があり、近隣の方々との交流の場となっている。地区の老人クラブの行事や町の行事への参加が行われ、地域との交流を積極的に行っている。</p> <p>職員育成にも力を入れており、研修会を計画的に行い、職員が毎月の研修に参加できる体制を組み、更なるサービスの向上を目指している。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義・取り組みについては、管理者だけでなく、職員全員で行い、課題を共有し改善に取り組んでいる。栄養摂取や水分確保については、月に1度、法人の栄養士に確認してもらうとともに、毎日の水分・食事摂取量をチェックしている。感染予防については、取り決めをマニュアルにし、予防に努めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価を行い、振り返りをするとともに、今後の課題を共有し、改善に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>活動内容の報告や、評価への取り組み等について話し合いが行われている。また、運営推進会議では地域の行事の情報が得られ、地域交流の促進に役立っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>苦情ボックスが設置されている。また、面会時に家族からの意見や要望を吸い上げ、職員で話し合いを行い改善に取り組む体制にある。家族へは、毎月の生活ぶりや健康状態を文書にして郵送している。他に必要時は電話で連絡している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>敷地内にある足湯に隣近所の方が気軽に立ち寄り、日常的に交流ができる場となっている。また、地域の老人クラブや保育園の行事に参加する等、地域交流を積極的に行っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に、地域密着型サービスの意義を職員で確認し、地域でその人らしく生活することを支える理念を作り、目につきやすいところに掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は会議等で理念を確認しあい、共通した理解で介護にあたっている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	敷地内の足湯に、隣近所の方が気軽に立ち寄り、地域の老人クラブに参加しており、ふれあい事業の活動に年2～3回程度参加し、レクリエーションや食事会、子供とのふれあい等地元の人々との交流が持てている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員で自己評価を行い、振り返りや方向性を共有することにつなげている。また、評価を活かし改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3ヶ月に一度開催しており、活動内容の報告や評価への取り組み等話し合いが行われている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村の担当者に講師を依頼し研修会を行うなど、月1回の包括研修会にて市町村担当者や他関係機関とも連携したりして、地域全体のサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、権利擁護の制度を活用している方が1名おり、家族が直接対応している。職員は研修会を行い、必要があれば連携を取れる体制にある。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内で研修を行い、高齢者虐待防止関連法を理解し、職員同士防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>理解を得られるよう相談員、管理者の二人で十分に説明している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、生活ぶりや健康状態を文書にし郵送している。他、必要時は電話にて連絡している。小遣い帳は来訪時、確認してもらっている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情ボックスを設置している。また、面会時などに家族からの要望を吸い上げ、職員間で話し合い反映している。要望等を記録には残されていない。</p>		<p>家族や利用者からの意見や要望を記録に残すことで、振り返りや更なるサービスの向上に反映させることを期待します。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職がやむを得ない場合は、家族や利用者きちんと説明し、引継ぎを行いながら、ダメージを少なくするよう努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で段階に応じた研修が計画され実施されている。また、外部研修への参加も計画されており、毎月報告会を行い、職員育成がされている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の研修会が定期的に行われ交流の場となっており、情報交換を通じてサービスの向上につなげている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう家族等と相談しながら工夫している	法人内の事業所の利用時に、見学や行き来があり不安を少なくして、利用に移行してもらっている。また、家族等との連携を図り、徐々に馴染めるよう取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、地域に伝わるしめ縄作りや、畑仕事を通して、利用者から学ぶ場面が多くあり、ともに支えあう関係作りを築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の会話の中で、一人ひとりの思いや意向を把握できるよう努めている。また、意向に合わせ縫い物、掃除、調理を個別に計画している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族から意向を確認しながら、センター方式のアセスメントを活用し、担当者会議を行い、介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとに担当者会議を行い、介護計画の見直しをしている。状況変化時には、その都度新たな計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>必要時には、通院の援助や、要望に応じて馴染みの理美容院へ外出の援助等、柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者や家族が希望するかかりつけ医となっている。また、事業所としても法人の看護師との協力を得て、適切な対応ができるよう支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>状況に合わせ、定期的に話し合いを行っている。希望があれば、対応について相談する体制にある。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>排泄援助時は、自室でおむつ交換するよう配慮されているが、人前で誘導する言葉がけもされていた。</p>		<p>利用者の誇りやプライバシーに配慮し、さりげない言葉がけや対応をすることで、今以上にサービスの質の向上に繋がると思われます。今後の取り組みに期待します。</p>
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりが自由に、事業所内を行き来し、ゆったりと生活している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>可能な利用者は、食事の準備や後片付けを職員とともにやっている。また、一人ひとりのペースに合わせて介助したり、職員も一緒に食事することで、和やかな食事の時間となっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は決めているが、時間帯は利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせている。また、毎日の足浴や要望に応じて、同法人内の温泉浴を楽しむことができる。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者一人ひとりの力を活かし、縫い物、掃除、茶碗拭き等の役割があり日課となっている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>受診の帰りに買い物をしたり、散歩を楽しむことができる。暖かい期間は足湯が日課となり、毎日のように屋外に出て過ごしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内の研修会を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、ベット脇にマットを敷き安全対策にも配慮されている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けず、玄関や出入り口となる窓などにセンサーを設置し対応している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域住民の協力を得ながら、定期的に避難訓練を行っている。		数日分の非常食や水の確保をし、緊急時の対応等、きめ細かい対策への取り組みを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりに合わせた食事形態となっており、摂取量や水分量を毎日チェックしている。また、栄養士が定期的に専門的なアドバイスをしている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策委員会で内部研修を行い、周知徹底を図っている。また、取り決めをマニュアルにし、見やすいところに置き予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>加湿器を各居室や共有スペースに設置し、温度・湿度管理を行っている。事業所内は天井が高く、梁等懐かしさとやわらかな暖かさが感じられ、手作りの装飾品等の優しい雰囲気のある空間となっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時のみではなく、継続し、馴染みの品を持ってきてもらうよう家族へ働きかけ、居心地よく過ごせるよう環境作りに心がけている。</p>		

 は、重点項目。